

報道関係者各位

【緊急避妊薬の薬局販売、当事者目線での実現を】**5月28日<女性の健康のために行動する国際デー>開催****緊急避妊薬のスイッチOTC化要望書に関する記者会見のご案内****【日時】 2021年5月28日（金） 11時00分～ 厚生労働省 会見室**

女性が健康を守るために、安心して、適切かつ安全に、緊急避妊薬にアクセスできる社会の実現を目指す「緊急避妊薬の薬局での入手を実現する市民プロジェクト（通称：緊急避妊薬を薬局でプロジェクト）」では、女性の健康のために行動する国際デー（International Day of Action for Women's Health）である5月28日に、医療用医薬品から要指導・一般用医薬品へ新たに転用が望まれる成分として、緊急避妊薬のスイッチOTC医薬品としての要望申請を厚生労働省に提出し、同日同省内にて記者会見を行います。

緊急避妊薬は、妊娠可能性のある性行為からできる限り早く、72時間以内に服用することで高い確率で妊娠を防ぐことができる薬です。現在緊急避妊薬の入手には医師の処方箋・診療が必要ですが、さまざまな事情から医療機関を受診できないことや遅れてしまうことがあることや、コロナ禍において若年層の予期せぬ妊娠の相談が急増したことを背景に、スイッチOTC化に向けての注目が高まっています。昨年末に閣議決定された第5次男女共同参画基本計画では、緊急避妊薬を薬局で処方箋なしで適切に利用できるよう検討する方針が盛り込まれました。WHO（世界保健機関）やFIGO（国際産婦人科連合）、ICEC（国際緊急避妊コンソーシアム）等の国際機関では、新型コロナウイルス感染症対策において「OTC化の検討を含め緊急避妊へのアクセスを確実にすること」を世界各国に提言しています。私たちは、セクシュアル・リプロダクティブヘルス&ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の実現のため、全ての少女・女性が入手できるよう環境整備として、当事者の目線に立った緊急避妊薬のスイッチOTC実現を求めます。

【概要】 日時：2021年5月28日（金） 11時00分～11時45分

会場：厚生労働省 会見室（オンライン<zoom>参加ご希望の方はご連絡ください）

内容： ・緊急避妊薬スイッチOTC化の要望申請について

・緊急避妊薬へのアクセスに関する国際的な声明・勧告について

・緊急避妊薬スイッチOTC化に関する当事者の声の紹介

・今後のプロジェクトの予定・展望について

登壇者： NPOピルコン理事長 染矢明日香（そめやあすか）産婦人科医 遠見才希子（えんみさきこ）他

【アフターピル（緊急避妊薬）を必要とするすべての女性に届けたい！署名キャンペーン】 <https://www.change.org/afterpill>**賛同者数 11万人超！**（2021年5月現在）

私たちの要望（一部抜粋）：

○緊急避妊薬をOTC化してください。また、諸外国との価格差を無くしてください。

○文部科学省と連携し、ピルや避妊についてしっかりした知識をつける性教育を充実させてください。義務教育である中学校までの教育で取り上げるべきです。

【お願い】取材希望の方は、媒体名、取材参加者様のお名前を下記Eメール宛にお知らせください。

活字媒体の公開にあたりましては、お手数ですが、当プロジェクトに内容確認をお願いいたします。

【取材お問い合わせ先】 緊急避妊薬の薬局での入手を実現する市民プロジェクト/NPO法人ピルコン担当：染矢明日香 **E-mail** : info@kinkyuhinin.jp / a.someya@pilcon.org **TEL** 070-8327-9571 <https://kinkyuhinin.jp/>